



2004 ~ 2005 年度
R I テーマ

CELEBRATE ROTARY ロータリーを祝おう

国際ロータリー会長 グレン E. エステス・シニア (国籍・アメリカアラバマ州)

2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12 時 30 分
ところ トキ八別府店 7 F ぼたんの間
TEL 23-1111
事務所 別府市西野口町 1 番 1 号 青山通りビル 3F
〒 874-0931 TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
http://www.beppu4rc.jp/chuo/
E-mail:info@beppu4rc.jp

理事	鳴海淳郎	理事	梅津ヤヨイ	役員	会長	森 宗明	SA A	梅津ヤヨイ
"	溝部 仁	"	木村きぬ系		副会長	後藤健介		
"	村津忠久	"	大島由美子		幹事	上妻 浩		
"	平野英壽				会 計	岩尾昭治		

VOL . 17 - 35
2005 年 3 月 29 日

第 769 回 例 会

会報委員長 近藤 賢司

点 鐘 12 : 30
体 操 自律神経強化体操
R . S . 奉仕の理想
唱 歌 朧月夜
B . G . M 「オーケストラで綴る
日本の愛唱歌」より
花かげ
五木の子守唄
島原地方の子守唄 他
ビジター 4 月 5 日 篠田浩一 (別 府)
木村勝二 (別府北)

出席報告 委員長 衛藤 秀子

本 日 の 出 席	会 員 総 数	25 名
	出 席 者	19 名
	事前メイクアップ	3 名
	理 事 会 承 認	2 名
	出 席 免 除	0 名
出 席	欠 席 数	1 名
	出 席 率	82.61 %
前 々 回 の 訂 正	出 席 率	65.22 %
	事後メイクアップ	7 名
	理 事 会 承 認	2 名
	出 席 免 除	0 名
3/15	修 正 出 席 率	100 %

連 続 2 回
通 算 695 回 100 %

会長の時間 会長 森 宗明

3 月 27 日、もみじ谷の奉仕作業に参加してくださったみなさんお疲れさまでした。次週の週報に当日の写真を掲載いたします。残念なことに小雨が降ってしまし、女性会員の参加希望のみなさんにはご遠慮願った次第です。次回晴天の下に行えるよう、願っています。近いからとたかをくくってゆっくり出かけましたらぎりぎりについてしまっ、ご参加のみなさんには失礼しました。何より 70 人もの自衛隊曾友会のみなさんには大変お世話になりました。今やもみじ谷の奉仕作業は曾友会の参加なしには考えられなくなって来ました。ナショナルトラストの件は現在県庁に申し込み途中であります。私の繁忙ゆえ、のびのびになっていますが、何とか今年度中に認証にたどり着きたいとは思っています。26 日中津ロータリークラブ所属の伊東真純パストガバナーが 84 歳でご逝去され、私別府 4 ロータリークラブの代表と

・メイクアップ

事前 近藤 (別府東)
土谷、吉富 (もみじ谷植樹作業)
事後 近藤 (日出)、溝部、梅津、土谷 (別府)
小川、後藤 (孝) (別府東)
森 (もみじ谷植樹作業)
欠席 後藤 (孝)

してお通夜に参列して参りました。つい最近まで医療現場で診察されていたそうで、生涯現役を貫かれたようです。ご冥福をお祈りします。

・本日は 16 周年記念例会です。後ほど溝部会員より因んだ卓話を頂きますが、改めて創設にご苦勞頂いた会員諸兄に敬意を表します。



幹事報告

幹事 上妻 浩

...3月28日は、当別府中央ロータリークラブの創立記念日です。...

1. 本日の卓話

『別府中央RC創立16周年に因んで』

溝部 仁会員

2. 訃報

R I 第2720地区[1991 - 92年度]パストガバナー 伊東眞純氏(中津RC)がご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。お通夜が3月26日(土)19:00~ご葬儀が3月27日(日)13:00~中津市「中津斎場」で執り行われました。別府市内4RCを代表し、森 宗明会長が参列致しました。

3. 第4回臨時理事・役員会報告

(H17.3.22(火)13:40~ 於:トキハ別府店例会場 9名)

審議事項

- 1) 2005学年度米山奨学生世話クラブ及びカウンセラーの件。 *承認
溝部 仁会員がカウンセラーを承諾

4. 委員会報告

・社会奉仕委員会

- 5. 3月27日(日)9:00~もみじ谷に於いて「もみじ谷植樹作業」を行いました。参加会員の皆様ご協力ありがとうございました。また、外部からの協力は陸上自衛隊曹友会71名、コース会員4名、市農林水産課関係8名の参加がありました。

参加者: 森 宗明、村津忠久、平野英壽、河村貴雄、中島澄人、鳴海淳郎、土谷昌秀、吉富今男、上妻 浩 各会員
平野工務店社員(寺西氏)

6. お祝い

配偶者誕生日 吉富 邦子さん(4月2日)
村津久美子さん(4月4日)

7. 例会変更のお知らせ

- 豊後高田RC 4月5日(火)の例会は、家族野外例会の為 4月3日(日)11:00~いなり公園に日時・場所変更
- 中津RC 4月6日(水)の例会は、観桜例会の為 同日18:30~森のレストランなかなか時間に時間・場所変更
- 宇佐RC 4月7日(木)の例会は、家族親睦花見例会の為 同日18:30~かんぼの郷宇佐に時間・場所変更
- 杵築RC 4月7日(木)の例会は、新入会員歓迎会・観桜例会の為 同日17:30~パストラル三河苑に時間変更
- くさきRC 4月13日(水)の例会は、韓国山清RCと交流例会の為 韓国山清RCに日時・場所変更

大分キャピタルRC 4月13日(水)の例会は、5周年記念事業「家族いきいきフェスタin Big Eye」の準備・打ち合わせ会の為 同日18:30~大分東洋ホテルに時間変更

大分東RC 4月14日(木)の例会は、職場訪問例会の為 同日12:30~大成倉庫棟に場所変更

中津中央RC 4月19日(火)の例会は、向笠公園清掃例会の為 同日12:30~福沢茶屋(旧諭吉茶屋)に場所変更

8. 次週の予定

次週4月5日例会は、定款第5条第1節(C)に基づき休会致します。

9. 次々週(4月12日)の予定

「花見例会」

* 時間・場所を変更して、18:30~春香苑に於いて開催致します。お間違えのない様ご注意ください。

尚、当日は18:00~「第10回定例理事・役員会」を行います。理事・役員の方はご出席の方よろしくお願い致します。

10. 本日の回覧

「花見例会」(4月12日例会) 出欠席

11. 本日の配布

ロータリーの友4月号

週報768号

「親睦と奉仕」 鳴海淳郎R情報委員長

スマイルボックス

委員長 葉真寺章三

森会長

例会場の外に孫の服がたくさん並んでいます。帰りにドッサリ買って帰ります。

上妻会員

溝部会員、本日の卓話よろしく申し上げます。

鳴海会員

当クラブ創立16周年を迎え、一人感慨新たに今後一層の発展を祈念してスマイル致します。なお、先日は家内の誕生日プレゼント有り難うございました。

村津会員

一昨日27日(日曜日) 予定通り1000本の苗木をもみじ谷に植樹することが出来ました。詳しくは委員会報告の通りです。植樹された苗木にとっては最高の恵みの雨でした。全てに感謝してスマイル。

溝部会員

次女が本年から帰って来る様になりました。短大講師で勤務します。嫁(大分・別府)の御世話を御願致します。

津末会員

上妻さん、先週はごめんなさい。本当に有り難うございました。

東京に行っていました。子供達と久しぶりに会いました。主人と子供達はラスベガスに遊びに行き、一人で淋しく過ごしています。

河村会員

もみじ植樹で、鳴海先生が重い苗木を両手に持って軽快に歩かれるのを見て、帰って父にその話をしましたら、おれも歩くように努力しようと言っておりました。本当に先生は若い。

大島会員

27日、雨の中をもみじ谷植樹作業に参加された皆様方おつかれ様です。

葉真寺会員

27日のもみじ谷の植樹に参加された皆様にスマイルいたします。

委員会報告

社会奉仕委員会

委員長 村津 忠久

3月27日(日曜日)かねての計画通り「もみじ谷」のモミジ植樹作業を実施致しました。

当日の朝、6時の天気予報で、作業中の降雨が予測されましたので、参加予定者全員に連絡して、雨具の準備と、女性会員の参加中止をお願いしました。

定刻前に参加者全員で準備体操をした後、作業開始式を行い、早速作業現場へ。

心配した雨は殆ど降らず、10時過ぎに苗木の運搬作業、曹友会の植樹作業、全てを終了しました。

参加者は、平野、河村、上妻、森、中島、鳴海、土谷、吉富、村津、各会員と平野工務店社員の寺西氏、陸上自衛隊曹友会・阿部会長以下71名、コーラス会員4名、市農林水産課長以下8名の計93名。

植樹された苗木は、ヤマモミジ・900本、ケヤキ・20本、ヤマボウシ・20本、コブシ・20本、ヤマサクラ・20本、トチノキ・20本、の計1000本。

今後の奉仕作業の予定ですが、曹友会の演習日程等から、夏は7月24日(日)、秋は11月6日(日)を予定しております。

卓話

別府中央RC創立16周年に因んで

別府中央RC大主教 溝部 仁

1 はじめに

別府中央RCは、平成元年3月に別府市内第4番目のクラブとして創立された。当時のガバナー黒木先生は、鬼籍の人となり、チャーターメンバー(創立時の会員)も幾人が逝去された。特に残念なのは、私が幹事の時、会長を務められた村橋先生の死である。先生は、

若い学生を教えるでエネルギーが貰える。とおっしゃり、亡くなる直前まで、講義に来ていただいたご恩は決して忘れない。

私は、別府北RCに36歳で入会し、諸般の事情で当クラブに移籍した。当時、現役のロータリアンは、特別代表の鳴海先生と村津さんと私の3人で、当初は、当クラブの基礎造りに貢献できたのではないかと思っている。試行錯誤の時期もあったが、鳴海先生の指導で、何とかクラブの形が整ってきた。特筆すべき当クラブの特徴は、次の二つであろう。

スマイルボックスがすべて自主申告となっている。このことは、誇っているのではないかと考えている。

私語が多い。クラブ名は秘すが、市内のあるクラブでは、私語が多く、会長の時間など聞こえないクラブもある。この点も胸を張っているのではないかと考えている。

2 幹事の時代

その後、私にも幹事が回ってきた。何と、別府市内4RCの代表幹事であった。特に、青少年交換の会計は、杜撰で、客観的な資料もなく、恣意が数多く潜在し、これを正常に戻すことから努力した。私は、『規程』を作成することが割合得意であったので、ただちに着手し、翌日には、『青少年交換規程』が完成した。これが今でも残っていることは、誇りに思っている。

また、事務局員が産休となり、結局、事務局2人体制で乗り切ったことは、今後の指針となるように感じてならない。ただ断っておきたいが、月に一度は、事務局員と一緒に昼食を食べ、意思の疎通が円滑になっていたから、これが実現されたと考えている。さらに、鮮明に覚えているのは、出張で、札幌におり、広田さんからホテルにファックスが入り、幹事報告を修正したことは、懐かしい思い出である。

なお、広田さんは、私と同級生であったが、病気のためにすでに鬼籍の人となっていることは、残念でたまらない。

ところで、私は、当クラブの幹事であるとともに、市内の代表幹事となった。当時は、事務局員の給料の税金や保険料等を計算することも業務としていた。何んのことはない、雑用係であった。こんな折り、元RI(国際ロータリー)会長の向笠先生が亡くなったのである。この葬儀をどうするかで議論に熱が入った。恐らく、RI会長にまでなったのだから花輪が大量にお供えされるだろう。従って、市内4クラブ合同でお供えしよう。また、葬儀には、会長が中津まで行く、という結論になった。当クラブは、村橋先生が代表で葬儀に参列した。後刻、その報告があった。

ある会長から「RI会長までした人だからさぞかし大きな葬儀だと思って行ったが、中央葬儀より小さな会場で、空席もあり、花輪も少なかった。兄貴の葬儀の方が、余程大きかった。」と印象を述べられた。村橋先生も同様な感想を述べられていた。坂本幹事(故人)・丸尾幹事と私は、会が終わって、ロータリーで何かアア。と三人とも失望の色を濃くしたことを昨日のように覚えている。このことがあって、私の価値観と人生観は、200度くらい変わった。

やはり地域社会への奉仕とロータリー内の奉仕を併せてしなければならぬと自覚し、現在、各種団体のお世話をしているところである。

3 会長の時代

幹事が終わって数年後、会長が回ってきた。しかし、その後、二度、計三度も会長をすとは、夢にも思わなかった。ただ、はじめで告白するが、私の信条として、口先だけの人物は、信用していない。兎に角、汗をかく、結果は、いい方向に進展しない時もあるが、汗をかけたかどうかは、自分の胸に問えば、十分にわかるのである。

さて、会長時代は、幹事に恵まれたといって過言ではない。最初が、師匠の梅津さんであった。裏で、懸命に支えていただいたと思っている。『麦畑』は、忘年会の恒例となっていることは嬉しい限りである。二度目は、三苦さんであった。一緒に白村に『河豚』を食いつつ行った。河豚屋で一過性の脳貧血で倒れ、救急車が河豚屋に来たことは、今でも昨日のこのように覚えている。また、二人で、月に一度は、事務局員と昼食をしたことも記述しておきたい。この時は、代表会長でもあった。三度目は、現在の会長森さんである。熊



本の阿蘇に何度か一緒に行った。また、よく飲んで、蕎麦を食いに(深い意味がある)行った。いずれにしても、素晴らしい幹事に恵まれたと思っている。

4 ガバナー補佐の時代

その後、縁ありガバナー補佐をしなければならなくなった。他クラブに訪問した印象などは、敢えて語らないことにしたい。それよりもガバナー補佐は、IM(インターシティー・ミーティング...セミナーに酷似)を主催しなければならぬために、大分県5分区のガバナー補佐と相談し、大分で合同のセミナーを開催した。私は、コーディネーターとして『ロータリーの魅力』について、各地区のロータリアンの代表の皆様にお話を語ってもらった。いろいろな意見が出た。

最後のまとして、アメリカのプロテスタント系の癌病院の落書きを皆さんに紹介した。

- 一 大事をなそうとして力を与えてほしいとあなたに求めた時 憤り深く従順であるようにと弱さを授かった。
 - 二 より偉大なことが出来るように健康を求めたのに より良きことが出来るようにと病弱を授かった。
 - 三 幸せになるうと富を求めたのに、賢明になるようにと貧困を授かった。
- 求めた物は一つとして与えられなかったが、願いはすべて聞き届けられた。私は、あらゆる人の中で最も豊に祝福された。

「このような精神がアメリカのロータリアンには脈々と潜在していることを認識してほしい。」と結んだ。すでにキリスト教に興味があったが、この頃からさらにキリスト教からロータリーにアプローチしてみようという思いに拍車がかかった。

5 ロータリーの研究

R I (国際ロータリー)の会員の内訳

1905年アメリカで生まれたロータリーは、丸100年が経過した。この間に、ロータリーは、全世界で組織され、いまや120万人を超えるまでに拡大している。表面的には、確かにそのとおりである。しかし、視点をかえてみるとかなり歪になっている。この事実を検証すると、世界が見えてくるのである。

1998年の統計によれば、ロータリアンの数は、アメリカ40万人と圧倒的に多い。これに対して、フランス3万3千人、イタリア3万3千人、スペイン3千人強、ユダヤ教のイスラエル1千人強と驚くべき結果となっている。さらに付言すれば、カトリックの影響が強い東ヨーロッパの国々は、かつて社会主義であったこともあるが、いずれも千人以下となっている。

その原因を探る

その原因は、何度も卓話で述べてきたが、職業に対する天罰論と天職論、集団と個人かという最も基本的な部分で大きな乖離があるのである。アメリカで生まれたロータリーに対して、フランス・イタリアやスペインなど、地中海沿岸のカトリックの国々のロータリアンは、基本的にロータリーの考え方を全面的に支持しているとは思えない。従って、R I会長に立候補する可能性は極めて低いと予測できる。さらに、ロータリアンの数が、今後、こ

れらの地域で大幅に増える可能性は絶望的であるといわざるをえない。天罰論に支配されたフランスとイタリアではあるが、これらの国の代表的な輸出品は、ワインのほか何があるか『よく考えよう』(矢田亜希子風に)、もうおわかりのように、高品質なデザインのブランド品である。デザインは、勤勉さは必要とせず感性が最も重視されるのである。(90へ~イを超えただろうか)からである。これに対して、ドイツ・イギリスやスイスなどのプロテスタントの国々は、気候に恵まれないために、工業製品を作り出すしか生活の糧がないのである。従って、勤勉さが重視されるのである。ドイツ製品は、デザインは優れてはいないが、その機能は、抜群である。また、東欧の多くの国が貧しいのは、かつて社会主義であったこともあるが、もともと、気候には、恵まれていないために、本来は、ドイツやスイスのような生き方をしなければならぬが、カトリックの天罰論の呪縛で勤勉さが喪失しているために、豊になれないのである。なお、キリスト教のように戒律と規律が厳しくないアジアの日本13万人、インド7万人強、韓国4万人である。これらの国々は、宗教的な意識が緩やかなために、ロータリーの内部を深く理解しないままに入会(自分も同様であった)していると推断してもあながち間違いない!(長井秀和風に)

6 むすび

以上のように、主としてカトリックの国とプロテスタントの国からロータリーを考えてきた。いかがだったであろうか。視野が広がり、ロータリーが更に見えてきた(80へ~イを超えただろうか)のではないかと思う。

最後に、我が国は、資源もなく、世界に誇れるデザインもない。あるのは、勤勉さである。しかし、牛肉の偽装事件・賞味期限の改竄・鳥インフルエンザに罹患した鶏をそのまま出荷したなど、おぞましい事件が続いている。このような事件が続発しているために、ここ5年あまり地区のガバナーからも職業倫理をセミナーで議論するように勧奨され続けている。ここで、『他人を思いやる気持ちが欠けていた』からこのような事件が起こった。と説明できるかもわからない。しかし、『何故、この気持ちが欠けていたのか』と問われると、その答えは、なかなか見つからない。

この答えは、これまで何度か卓話してきたように、カルヴァンをもう一度思い出ししてほしい。現世で禁欲的で勤勉な生活を続け、その結果としての『営業利益』、『蓄財』を肯定している。ここに着目しなければならないであろう。雪印などの食品会社や従業員は、皆、勤勉であったと思う。しかし、己の利益のみを考え、消費者の利益を考えなかったために引き起こされた事件である。このような思考経路の中で、欠落したものは、何か、といえば、雪印と従業員は、禁欲的ではなかったと思う。己の欲を慎めば、このような悲惨な事件はなかったと思う。残念!(波田陽区風に)宗教は、我々の行動規範を決定するといつて過言ではない。

これから我々に課された課題は、宗教をいかにロータリーで取り上げていくか真剣に考える時期に突入しているように思う。

最後に、次年度平野会長と木村幹事には、当クラブのよき伝統を継承しながら、さらなる発展を心より祈念して卓話を終えたい。

会員コラム

勝利の女神に好かれる方法

最近、IT産業の経営者が話題を賑わしている。

ところが、彼らには、慇懃無礼な振る舞いが目立つ。将棋の米長邦夫元棋王は、かつて、上記のタイトルの本を出版した。私は、米長が好きだったので、早速、購入した。次期の総裁選挙に3人の候補者が立った。自民党元幹事長小沢一郎が彼らを幹事長室に呼び付けたのである。ご記憶のことと思う。米長は、「これで小沢は終わりである。何故なら、先輩

溝部 仁

を呼び付け、傲慢な態度で接した。女神様から必ず嫌われる。」と述べていたのである。米長の指摘どおり、小沢は、女神様から棄てられ存在が話題になることは殆どない。

西郷隆盛は『敬天愛人』が座右の銘である。即ち、天を敬えば、自ずから傲慢や慇懃無礼にはなれない。だから、明治維新が成ったのである。

謙虚であることは、女神から好かれる最大の武器であると感じる昨今である。